



ヴァイオリン 伊藤 亜美
(ソリスト)



ヴァイオリン 小山 あずさ
(仙台フィル)



ヴァイオリン 蔵川 瑠美
(広響)



ヴァイオリン 直江 智沙子
(神奈川フィル)



ヴァイオリン 森岡 聡
(神戸室内)

NISHIMOTO YUKIHIRO

西本幸弘 VIOLINable vol. 5.5

～ 弦想の夜～

VIOLINable ~Discovery~ 5周年感謝祭!!

仙台フィル&九州響コンサートマスター西本幸弘が
“ゆかり”の仲間と贈る、一夜限りの【“縁”奏会】。

Program

P. ウォーロック
カプリオール組曲

A. ヴィヴァルディ
和声と創意の試みより『四季』全曲

芥川也寸志
絃楽のための三楽章 トリプティック

B. バルトーク
ディヴェルティメント Sz.113

※曲目・曲順は変更になる場合があります。予めご了承ください。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮頂いております。

2019年6月12日(水) 19:00 開演
(18:30 開場)

仙台市宮城野区文化センター PaToNa ホール

(仙台市宮城野区五輪2丁目12-70/JR仙石線「陸前原町」駅直結)
※駐車場に限りがございますので公共交通機関をご利用ください。

【特別協賛】奥田建設株式会社、大和証券株式会社仙台支店



Violinable*



ヴィオラ 細川 泉
(九州響)



ヴィオラ 村田 恵子
(東京響)



チェロ 山本 直輝
(九州響)



チェロ 吉岡 知広
(仙台フィル)



コントラバス 高杉 健人
(東京室内)

チケット
2019年4月1日
発売予定

全席指定 一般:3,500円/ペア:6,000円

【プレイガイド】チケットぴあ0570-02-9999(Pコード/147-186)、藤崎
仙台三越、ヤマハミュージックリテイリング仙台店、宮城野区文化センター

【後援】公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団、公益財団法人 九州交響楽団
公益財団法人 仙台市市民文化事業団(仙台国際音楽コンクール事務局)、河北新報社
TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、東日本放送、Date fm

【問合せ】HAL PLANNING tel.022-262-1682 ※受付時間 10:00~18:00(土日・祝を除く)

《VIOLINable-ヴァイオリンの可能性と適合性-》をテーマに【discovery-発見-】をしながら進めてきたシリーズ5年目。ヴァイオリニスト、そしてコンサートマスターとしてひとつの節目に叶えたい夢があります。それは、同世代の“ゆかり”の仲間との弦楽アンサンブル。同じ頃に音楽や楽器と出会い切磋琢磨してきた、今までもこれからも一緒にアーティストとして活動する素晴らしい仲間達と、今、どんな風に音楽を奏でられるか、そして弦楽器を想えるか、どんな未来を想像できるか。バロックから近代、邦人作品の名曲に真っ向から取り組みます。そして同時に音楽の力を信じての復興支援の在り方も一緒に考えてみたいと思います。シリーズ5周年の感謝の気持ちとともに、百花繚乱を目指した【VIOLINable vol. 5.5 ~弦想の夜~】をお贈りします。どうぞごゆっくりお楽しみください！！

西本 幸弘



西本 幸弘 (ヴァイオリン)

札幌市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、英国国立北音楽院で首席榮譽付ディプロマ取得。同音楽院より多くの褒賞を受賞。英国を拠点に活動し、海外オーケストラとの共演や世界各地の音楽祭で演奏、著名な演奏家との共演も数多い。英国にて NISHIMOTO TRIO、イゾラニ・カルテットそれぞれを結成し、ウィグモアホール（ロンドン）など著名なホールで招待演奏、イギリス・オーストラリア両国国営放送にも出演した。日本帰国後、自身のライフワーク活動のテーマとして《VIOLINable》を掲げ、ヴァイオリンでの音楽可能性を追求するプロジェクトを始動。活動の幅は多岐にわたり、多くの映画音楽などのレコーディングにも参加。各種施設でのアウトリーチ活動にも精力的に取り組んでいる。2014年より、ベートーヴェンソナタ全曲演奏と東日本大震災復興支援ワークショッププログラムをあわせたりサイタルツアー・シリーズ【VIOLINable ~ディスカヴァリー~】を始め、毎年、ゆかりの都市（札幌、仙台、御殿場）でリサイタルを開催。同シリーズ・ライブ録音 CD【VIOLINable discovery vol.1~4】をフォンテックよりリリース。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団（2012年~）、九州交響楽団（2018年~）の高楽団コンサートマスター。また、仙台国際音楽コンクール企画推進委員、ふもとのこどもオーケストラ音楽監督、NPO 法人 M.T.F.U.J 交響楽団特別顧問も務める。国内の主要オーケストラに客演コンサートマスターとしての出演も数多い。ニュークラシカルオーバーユニット《Rain Cats & Dogs》主宰。Date fm エフエム仙台【TOHKnet Sound Pizz.】、TBC 東北放送【日立システムズ エンジョイ!クラシック】で、ラジオ番組パーソナリティを務める。ヴァイオリンを今までに上木節子、山崎暁子、北本和彦、大谷康子、田中千香土、澤和樹、ヤール・クレス、各氏に師事。

公式フェイスブックページ: <https://www.facebook.com/VIOLINable/>

公式ツイッター: @yukihironishimo



伊藤 亜美 (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部附属高校、同大学を卒業後、渡欧。ルームミュージックファンデーション、明治安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学生として、ローザヌス高等音楽院、英国国立北音楽院、グラーツ芸術大学にて研鑽を積む。第78回日本音楽コンクール第1位、聴衆賞。第2回 RNCM マンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱作品最優秀演奏賞。これまでに仙台フィル、日本フィル、ロイヤル・リパブル・フィル、ジュール交響楽団等と共演。現在は日本を拠点に、ソリストの他カルテット・レストロ・アルモニコ、Ensemble FOVE のメンバーとして挑戦的なプログラムを展開中！

www.amito.com

イギリス同門・同窓生



小山 あずさ (ヴァイオリン)

埼玉県出身。東京藝術大学音楽学部を卒業。2015年より仙台フィルハーモニー管弦楽団ヴァイオリン奏者。2016年には初のソロ・リサイタル、2017年には第2回リサイタルを開催し、大好評を博す。また、アフィニス夏の音楽祭 2017、秋吉台室内楽セミナー 2018、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭 2018 への参加など、室内楽やソロ活動など様々な分野に挑戦し、国内外で研鑽を積んでいる。2019年4月より東京藝術大学大学院修士課程室内楽科に入学予定。現在、ヴァイオリンを松原勝也氏に師事。

同窓生・同僚



蔵川 瑠美 (ヴァイオリン)

1986年大阪府大阪市生まれ。東京藝術大学附属音楽高校、同大学卒業。同大学院在学中の2009年、日本センチュリー交響楽団にアシスタントコンサートマスターとして入団。2011年NHK FM放送、名曲リサイタル出演。同年、2012年アフィニス音楽祭に参加。2014年に広島交響楽団のオーディションに合格し、過去最年少でコンサートマスターに就任した。公益財団法人アフィニス文化財団による2018年度海外研修員として、2018年9月よりライプツィヒにてヘンリック・ホッホシルト氏（ゲヴァントハウス管弦楽団コンサートマスター）の元で研鑽を積む。

同窓生



直江 智沙子 (ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学を卒業。在学中より小澤征爾音楽塾、宮崎国際音楽祭、水戸室内管弦楽団、JT 室内楽シリーズ、東京のオペラの森、サイトウキネンフェスティバル松本、ナガノチェンバーオーケストラ、トリオン晴れた海のオーケストラ、これまでに故荒谷正雄、市川映子、徳永二男の各氏に師事。財団法人ルームミュージックファンデーションの奨学金を得てベルリンに留学、シュテファン・ピカール氏に師事。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリン首席奏者。

同郷



森岡 聡 (ヴァイオリン)

東京藝術大学在学中に安宅賞、卒業時に同声会賞を受賞。これまでにヴァイオリンを砂原亜紀、服部芳子、岡山深、箱佐紀子、栗原高子、寺岡有希子、森悠子、青木高志、Stefan Wagner 各氏に師事。リュエバウ音楽大学にて Elisabeth Weber 氏に師事。セノーテカルテットメンバー。紀尾井ホール室内管弦楽団、神戸市室内管弦楽団首席奏者。様々なオーケストラに客演コンサートマスター、首席奏者として出演。

同窓生



細川 泉 (ヴィオラ)

京都市立芸術大学大学院在学中にヴァイオリンからヴィオラに転向し、修了。ジュネーヴ高等音楽院においてヴィオラを今井信子氏に、室内楽をガボール・タカオチーナジ氏の元で研鑽を積む。ヴェルビエ音楽祭において Verbier Festival Orchestra で演奏。シャルル・デュトワ、イヴァン・フィッシャー、ヴァレリー・ゲルギエフ、など現代を代表する指揮者の元でオーケストラの研鑽を積む。日本演奏連盟と文化庁の主催でいづみホールにてソロリサイタルを開催。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。長岡京室内アンサンブルメンバー。2018年より九州交響楽団首席ヴィオラ奏者。

同僚



村田 恵子 (ヴィオラ)

兵庫県出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部を経て、同大学院修士課程修了。神戸文化ホールフェスティバル 2002「はばたけ神戸の若き音楽家たちV」最優秀賞受賞。第4回日本アンサンブルコンクール最優秀演奏者賞受賞。第7回別府アルゲリッチ音楽祭にてユリー・パシュメット氏の公開マスタークラスを受講。【JT が育てるアンサンブルシリーズ】「藝大定期室内」等に出演。五嶋みどり氏主催「第2回コミュニティエンゲージメントプログラム 2007 (カンボジア)」【小澤征爾音楽塾オーケストラプロジェクト】などに参加。ヴァイオリンを大塚さえ子、近藤緑、若林暢、ヴィオラを大野かおる、川崎和憲の各氏に師事。現在、東京都交響楽団副首席ヴィオラ奏者。

同窓生



山本 直輝 (チェロ)

10歳よりチェロを始める。東京藝術大学大学院修士課程を修了。在学中に安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。全日本学生音楽コンクール、ピバホールチェロコンクールなど、多数のコンクールにおいて上位入賞。また、ARC TRIO のメンバーとして 2016年度青山音楽賞（バロックザール賞）を受賞。これまでにチェロを松波恵子、植木昭雄、山崎伸子、藤森亮一の各氏に師事。2018年より九州交響楽団首席チェロ奏者。

同窓生・同僚



吉岡 知広 (チェロ)

桐朋女子高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽部門を卒業。2011年よりドイツ、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に在学するとともに、名門ライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラと学生契約をし在籍。卒業後はライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラアカデミーに在籍した。第9回ピバホールチェロコンクール第4位入賞。チェロを金木博幸、青木十良、藤原真理、毛利伯郎、クリスティアン・ギガの各氏に、また弦楽四重奏を中心に、室内楽を今井信子氏、東京カルテットに師事。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団に首席チェロ奏者。国内の様々なオーケストラの客演首席奏者を務めるなど幅広く活躍している。

同僚



高杉 健人 (コントラバス)

東京藝術大学卒業。14歳よりエレキベースを始め、翌年コントラバスを始める。これまでに PMF や宮崎国際音楽祭、ラフォルジュルネ、東京春音楽祭、ロストロポヴィチ音楽祭等に参加。全国プロオーケストラ、独奏や室内楽、「題名のない音楽会」や「100年の音楽」等のTV、スタジオミュージシャンとして録音に多数参加。劇団四季や東宝ミュージカル、フレンチ号でのタンゴ、マンドリンや吹奏楽等、様々な音楽活動を行なっている。【BlackBassQuintet】メンバーとしてのCDデビュー。2018年にはソロCD【CONTRABASSISM WHITE】をリリース。【RainCats&Dogs】メンバー。東京室内管弦楽団首席コントラバス奏者。

同期生

<http://sameblo.jp/kentrabass/>